

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 宙組	5 月 27 日 (火)	白木優香

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～天気～ 虹の色は何色？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
雨の後に虫エができる喜び、友達や保育者にも共有している。 また、雨がやると「虫エできるかな？」と空を見上げる姿がある。		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
10:35 - 10:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>くもり、雨、雪、日青れ以外の天気や空の現象は何か考え発表する。</li> <li>「イセに知っている天気はあるかな？」と問い掛けたり、①②での活動かを振り返られるような問いもかける。</li> <li>虫エについての意見が出たら、今回は虫エについて活動することを伝える。</li> <li>虫エを見たことはあるか、虫エはどんな色か考え発表する。「虫エはどんな時に見えるかな？」と問い掛け、実体験から天気との結びつきに発展するよう援助する。</li> </ul>	<環境設定> ・室内で話し合う時間を確保する。 ・実験が安全に行えるスペースを確保する。  <準備物> ・虫エのイラスト ・色えんぴつ ・ペットボトル ・水 ・懐中電灯、アルミホイル ・白い紙 ・ホワイトボード、マーカー ・マグネット  <実験> ① ペットボトルに水を入れ、アルミホイルを付けた懐中電灯の光がペットボトルの反射する位置に紙を置く。 ② 光とペットボトルの角度を見ながら紙の位置を変え、虫エの写る場所を探る。
10:40 - 10:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>虫エの色や太陽の光について知っていることを共有する。虫エの色を予測して紙を描いてみる。色は固定せず、それぞれが感じる色で描いてよいことを伝える。</li> <li>できあがった紙をみんなで見える。</li> </ul>	
10:50 - 11:05	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミホイル、懐中電灯、ペットボトルで実験を行う。</li> <li>手順を知らせ、どうなるか考え、発表する。</li> <li>光を水に通すことで虫エが現れることを観察し、実際に虫エを作る体験をする。</li> <li>「何ができたかな？」「虫エができたね。何色かな？」と問い、視点や試行錯誤が広がるようにする。</li> </ul>	

11:05-11:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫エができるしくみを振り返り、光と色の関係について話し合う。</li> <li>・実際の虫エの写真を見て、どんな時にできるか考える。</li> <li>・「雨上がりがいいね」「虫エがある時、太陽はいるかな?」と問い、水と光によつて虫エができていることに気付けるよう工夫する。</li> <li>・次回は太陽について調べてみることを提案する。</li> </ul>	
-------------	---	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫エのしくみ、光の色について学ぶ機会を作った。</li> <li>・虫エの光の色について予想し、実験を行い、光が氷を通ると虫エが表れることを確認した。</li> </ul>	<p>&lt;子どもの姿・声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「虫エができた!」と喜び、驚きの声を上げていた。</li> <li>・「太陽の光は白いのに、虫エの色になる不思議だね」と話し合っていた。</li> </ul> <p>&lt;保育者との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうして虫エの色が出るのかな?」と質問を投げかけた。</li> <li>・子どもたちに「自分で見たことを話してみよう」と伝え、意見を自由に表現できるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちはグループの友達とスムーズに意見を交わし、考えていた。友達が塗った虫エと見比べ、「隣の色はどうなってるのかな」と新たな疑問をもつ児もいて良かった。</li> <li>・子どもたちが自分の手で実験することで、興味を深めたり疑問を解決したりすることができた。</li> </ul>	<p>大人でも虫エの色が順番を聞かなくても知らずい、中からわかるのでは、ないでしょうか。疑問を持つことは、とても大切な事であり、よすよすこれから、どのような疑問が出てくるのか、楽しみですね。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5歳児 宙組	7月9日(水)	白木優香

● 実施計画

活動テーマ		
テマもの ～水～ 水ってなに？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
夏になり水道から出る水が 温かいことがあり、 興味をもって 調べている。		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
10:00-10:10	・水とは何かを問いかける。  ・子どもたちの意見をホワイトボードにまとめる。	・安全に探究できるよう環境を設定する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。
10:10-10:30	・水を水槽やコップに入れて観察してみる。  ・さまざまな形の容器に水を入れて、形の変化を探究してみる。  ・水の流れを探究してみる。  ・温度で水がどのように変化するかを調べてみる。	【活動使用教材】 ・水 ・絵の具(水色) ・透明のプラスチックコップ ・さまざまな形の容器(皿、コップ、袋など) ・スロープ ・電気ポット ・氷 ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー
10:30-10:40	・探検での発見や感想を発表する。発表の内容をホワイトボードにまとめていく。 ・水の性質について確認する。	【事前準備】 ・水を扱う活動になるため、水で濡れる点に注意し、転倒などの事故を防ぐよう環境を設定しておく。 ・牛乳パックやペットボトルなどで傾斜のあるコース(スロープ)を用意しておく。子どもたちと作成しても良い。 ※切り口でけがをしないよう配慮する。 ・氷を作っておく。子どもたちと一緒に作っても良い。 ・探究活動で使用する用具の使用方法を設定しておく。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・水とはどんなものかを考えて、「雨が降る」「海」「氷になる」など水のあふ場所や知識を伝えたい。</p> <p>・水について色・形・匂いなどを考え、探究を通して深めていった。</p>	<p>&lt;子どもの姿・声&gt;</p> <p>・ビニール袋に入れた水を触れて楽しんでいると穴があいてあふれてしまい、「水に形がない」を実感していた。</p> <p>&lt;保育者との関わり&gt;</p> <p>・まず保育者が「水に触れ言試してみよ」と、室内での活動にも意欲的に取り組んでいた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・様々な入れ物に水を入れて観察した。ビニール袋が破れて水があふれたが、そのことで「水に形がない」ことを改めて実感できたように感じた。</p> <p>・楽しんでいるから色々やってみることで探究心の追求につながっていると感じた。</p>	<p>液体は、固形に比べると形が無いため、理解しづらいか？ 手では、水そのものを知ることが出来、水から、どの形に発展するかな？ 楽しんでいる。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 そら 組	10 月 10 日 ( 金 )	白木優香

## ● 実施計画

活動テーマ		環境設定 ・ 準備物
<p>アート ~色のふれき~ これは何色?</p>		
<p>活動テーマに関する 日頃の興味関心について</p>		
<p>お絵描きの際は好きな色の服を描いたし、「ピンクの花が「好き」「青い服にしよう」など好みの色について話し合いが見られる。</p>		
時間	内容	環境設定 ・ 準備物
10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いろおに」をして、保育室内の色に関心をもたせる。</li> <li>・色の原料の写真から何色ができるかを考える。</li> <li>・12色の色画用紙の中から、好きな1色を選ぶ。</li> <li>・選んだ理由を考え、なぜその色が好きなのかを考える。</li> </ul>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがたくさん色を見つけやすいように、環境を用意する。</li> <li>・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12色(赤、橙、黄色、ピンク、青、水色、緑、紫、白、黒、灰色、茶)の色画用紙</li> <li>・赤青黄色紫白黒などの原料の写真(赤…カイガラムシ、青…ラピスラズリ、黄色…クチナシ、紫…アカニシ貝、白…ハマグリ、黒…墨)</li> <li>・寒色暖色中間色の色見本</li> </ul>
10:15~10:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白い画用紙を選んだ色と同じ色にしてみようと問いかける。</li> <li>・素材から何色になるのかを想像して白画用紙にこすりつける。</li> </ul>	<p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤、橙、黄色、ピンク、青、水色、緑、紫、白、黒、灰色、茶色の八つ切り画用紙→16等分に切り分ける。(人数分またはグループで1セット)</li> </ul>
10:30~10:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の持つ印象について話し合う。</li> <li>・「どの色が楽しい?」「どの色が悲しい?」など、色彩心理学の視点から色の効果を体感する。</li> <li>・「赤は元気が出る色?それとも静かな色?」など、感じ方の違いを共有する。</li> <li>・学んだ色の働きや面白さについて発表し合う。</li> <li>・生活の中で色を意識する機会を増やすよう促す。</li> <li>・身の回りの色に注目し、それぞれが持つ意味や効果を考える。</li> <li>・「今日学んだ色のことを、これからどんな場面で思い出せるかな?」と問いかけ、生活と結びつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の効果、寒色暖色中間色について事前に学習して理解を深めておく。</li> <li>・色の原料について事前に学習して理解を深めておく。</li> <li>・赤青黄色紫白黒などの原料の写真。(赤…カイガラムシ、青…ラピスラズリ、黄色…クチナシ、紫…アカニシ貝、白…ハマグリ、黒…墨)</li> <li>・寒色暖色中間色の色見本をプリントする。</li> <li>・白い画用紙と着色が期待できる素材を複数用意しておく。</li> <li>・色彩心理学に関する資料を用意し、理解しておく。</li> </ul>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>12色の中から似ている色、遠い色を探して並べた。色彩心理についての話を聞き、「あたたかい色」「寒い色」と分類した。友達と色の印象を話し合い、色の持つ交効果を実感していた。</p> <p>実際に12色の中から好きな色とその理由を考えることで、それぞれの色への理解を深めた。</p>	<p>&lt;子どもの姿・声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「火もおひさまも あたたかい色だ」と気づき、暖色がなぜ暖と感じるのであるかを考えていた。</li> <li>・好きな色と理由について、友達と相談しながら考え、言葉にしていた。</li> </ul> <p>&lt;保育者との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この色を見ると どんな気持ちになっちゃうかな?」と問いかけた。考えるきっかけにはよようにした。</li> <li>・暖かいもの、寒いものには何かがあるか問いかけた。暖色と寒色について気づけるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気づき	園長からの感想・助言内容
<p>自分の好きな色の理由を考えてみることで、色への理解が深まり、色への興味も持つことができていた。</p> <p>活動後、自由遊びの際にお絵描きをしていた児が「ほっぺをピンクで塗ると赤で塗ると、ちよっと違うね」と話していて、色への理解が深められたと感じた。</p>	<p>原色本来の持つイメージと子どもたちの心理的イメージが、重なった様子が見えられた。視覚から入るイメージが、そこからどうふうにはかんでいくか? 楽しみあり。</p>

実施クラス		実施日	実施保育者名
5 歳児	そう 組	1 月 8 日 ( 木 )	白木優香

● 実施計画

活動テーマ		
おかね ~ おかねってなんだろ〜 お金ってなあに？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
年始にお年玉をもらい、金額などについて 会話を楽しんでいた お金について興味をもち始めている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
13:30 - 13:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物をする時に何が必要か問いかけ、意見をまとめる。</li> <li>・「お金以外のものを使って買ったことはあるか」など、幅広い意見を募る。</li> <li>・なぜ、何のために、お金があるのか考える。</li> <li>・「お金がなかったらどうなるか」など、深く問いかける。</li> <li>・「影は見えるかな？」等と問いかけ、光がないと影はどうなるかを一緒に確認していく。</li> <li>・大昔は物と物を直接交換していたことを伝え、お金のない世界の体験につなげる。</li> </ul>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作り、一人ひとりの意見を尊重し、受け止める。</li> <li>・正解・不正解を明らかにするのではなく、多様な捉え方や考える姿勢・態度を大切にします。</li> </ul> <p>【活動使用教材】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬商品(保育室内の玩具など)</li> <li>・ホワイトボード</li> <li>・ホワイトボードマーカー</li> </ul> <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手に持って交換できる模擬商品を用意しておく。玩具以外にも、イラストや写真(本物と見立てる)などの活用も可。[(玩具、食べ物、服、家、車、お店屋さん、水、砂、石など)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「物々交換しやすいもの」と「物々交換しにくいもの」を用意しておく。</li> <li>※物々交換しやすい商品例: 玩具、(手で持てる)食べ物、服</li> <li>※物々交換しにくい商品例: 家・車(運べない)、電気(持てない)</li> </ul>
13:40 - 14:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本物と仮定した模擬商品を一人あたり5個程度ランダムに配る。</li> <li>・自由に模擬商品を交換し、お互いに納得して交換できるか試す。</li> <li>・物々交換しやすいものや、しにくいものの交換も試す。</li> <li>・やってみて分かったこと、感じたこと、うまくいかなかった点などを発表し、意見をまとめる。</li> <li>・交換がうまくいかなかったものを、何となら交換できるか、どのようにすれば解決できるか考える。</li> <li>・物々交換の不便さを解消するために、大昔のお金の始まり(貝殻など)を伝え、お金の役割(交換の道具)について認識を深める。</li> </ul>	
14:00 - 14:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は今の日本のお金について調べることを伝え、活動を終える。</li> </ul>	

--	--	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 買い物をする際に必要なものを考えてみると お金、財布の他に、「PayPay」「カード」などの答えもあった。</li> <li>・ 買い物ごっこでは 車とリンゴ、地球とブロックなどの物々交換で違和感を感じ、「足りない」と言いながら又もろ初得する交換を考えていた。</li> </ul>	<p>&lt;子どもの姿・声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物々交換の際は「車がほしいのに交換できるものがないから」と交換の不便さを感じていた。</li> </ul> <p>&lt;保育者との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「リンゴ2個なら交換できる?」「3個なら?」と問い掛け、物の価値を考えられるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>車や家を 実祭のものだとして 買い物をしてみることで、物々交換しづらいものを体験し不便さを味わうことができた。</p> <p>改めて お金の必要性を感じることで、次回以降は さらに深めた活動を 行ってきたい。</p>	<p>実生活で「お金」は欠かせない物なので 今回の体験を通じて、「お金」の必要性や使い方も、たこじん学んで欲しいです。</p>